

とっとり知らせたい!

TOTTORI SHIRASETAI!

市民と行政がつながるTV「とっとり知らせたい!」。さまざまな情報をお送りしています。みなさんの知らせたい!情報も待っています。

【放送】毎週金・土

新年あけましておめでとうございます!!
今年も鳥取市の魅力をたっぷりお伝えします!

「ジオたび」は、冬の安蔵・岩坪エリアをめぐる。とれたてグルメではかきもちを紹介。そのほか、「元気です」や「食育らくらくクッキング」などもあります。どうぞお見逃しなく!!



みやうちえりうち
~facebookページ「とっとり知らせ隊」にも注目!~

2015年新春特別編成 (1月1日~3日)

新春座談会をはじめ、県内CATV局共同制作番組「鳥取ふしぎ発見!」、鳥取市児童文化祭など特別編成でお送りします。

静止画文字情報

【鳥取市からのお知らせ】【放送】毎週水・木・金・土

いなばびよんびよんネット 自主制作番組

農業番組『いなばアグリタイム』【放送】毎週水・木
JA鳥取いなばの今年の取り組みや果樹のせん定作業などの農業情報、また冬場の加工作業などをお送りします。

地域情報番組『とっとりウオーキング』【放送】毎週日・月
とんどや書初め、七草がゆなど各地の正月行事や、公民館行事などを紹介します。

生活情報番組『びよんびよんワイド』【放送】毎週火
子育てや健康をテーマに、暮らしに役立つ情報や話題をお届けします。

手話番組『手話でコミュニケーション』【放送】毎週日・月
ニュースや話題、行事、お知らせを手話や字幕で紹介!

122ch (第2放送)

週替わりでリクエスト番組やイベント番組を再放送。また、テレビでしゃんしゃん体操を毎日放送中!

番組の放送時間や内容はホームページまたはデジタル放送の電子番組表(EPG)をご覧ください

情報をお寄せください!

いなばびよんびよんネット ☎ 0857-22-6111

※ 放送予定は予告なく変更することがあります。

番組の放送時間は、ホームページでも紹介しています。

http://www.inabapyonpyon.net



浜村温泉映画祭には地元の人も多く参加しました

画監督や作家を講師として招き、映画づくりを学びました。塾の中で受講生が一から企画した短編映画「ようこそ浜村へ」は、学生や地元の協力もあり、試行錯誤を繰り返しながら半年かけて制作しました。「全くの素人が初めて一から作ったものなので、出来としては人に見せられるかどうか」と話す極さんですが、「作ることが第一歩という意味で成功、とてもいい作品だった」と映画が完成したことを喜びました。映画は昨年11月2日・3日に開催された「浜

村温泉映画祭」で上映され、協力した地元の人も観覧し、映画祭は大いに盛り上がりました。映画祭に出席した塾のメイン講師、中島貞夫さんからは「日本一小さい映画祭だ」と評価されました。小さいながらも和気あいあいとした映画祭に、純子さんも「地域の人が喜んでくれたのが良かったし、地元で作って地元で上映したからこそ、作る側も見る側も楽しいという関係ができた」と語ってくれました。映画祭はこれからも続けて

いきたいと極さんは考えていて、「2、3年後くらいには、今のメンバーでプロに負けないくらいの作品を作りたい」と高い目標を掲げます。地域の人が集まる場所に これまでの3年間、駆け足で進んできた2人、極さんは「ベースとなる形はできつつあるし、自分たちができることを余裕をもって集中してやっていく」と考えています。アートスペース「ことり舎」も芸術活動が発表できる場として改修が進められてい

ます。「芸術家も集まるけど、地域の人顔を出してくれ、ことが増えたので、気楽に寄れる地域のコミュニティスペースになればいい」と話すのは極さん。「物を作る場所としてことり舎をもっと使ってもらいたいし、高校生くらいまでの若い人たちにここで楽しみを見つけてほしい」と、純子さんは夢を語ります。ことり舎の活動はまだ始まったばかり。今後が楽しみです。



あら お じゅん こ
荒尾 純子 さん

あら お きわむ
代表 荒尾 極 さん

一昨年8月、気高町を舞台にした短編映画の撮影が行われました。この撮影は、若手芸術家の有志で設立した「気高芸術のまちづくり委員会」が気高町総合支所や観光協会、商工会などと連携しながらロケ地誘致活動を行い、多くの地元住民もエキストラや炊き出しボランティアとして協力し実現しました。気高芸術のまちづくり委員会は平成24年8月に設立。委員会は立ち上げの中心となったのは、大阪からIターンした荒尾極さんと妻の純子さんです。極さんはシナリオ作りや映像プロデュース、純子さんは立体アニメーション制作と、映像関係の活動を大阪で行っていました。

極さんの父が気高町出身で、夏休みなどには帰省することもあり、「日本海や鷲峰山、温泉街など、映像を撮るのに恵まれた場所が周りにたくさんある」と感じた極さん。「ここにアーティストが集まる空間を作りたい」と考え、実家が空いていたこともあって、平成23年、ここ気高町に移り住みました。

「ことり舎」の創設

芸術活動の拠点を作るため、委員会は、市の「輝く中山間地域創出モデル事業」を活用して浜村温泉街の中心にある空き家を改修し、昨年3月に「ことり舎」をオープンさせました。これに併せて、団体名も「気高芸術のまちづくり委員会」から「ことり舎」に改名しました。「ことり」は純子さんの大学時代の同級生でもあるメンバーが考えた造語で、核や心臓を意味するラテン語の「cor」と鳥取の「とり」を組み合わせました。「鳥取市の鳥が『オオルリ』で韻もいい!」と極さんは話します。

映画の地産地消

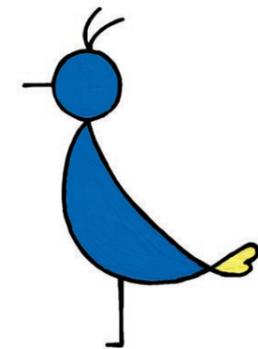
昨年5月には「浜村温泉湯けむり映画塾」を開塾。塾には映画の勉強をしたい人や映画作りの素人が集まり、映画を1本作ることを目標に、映

シリーズ 元気です

154

気高を芸術の まちにしたい!

ことり舎



芸術活動に適した環境

一昨年8月、気高町を舞台



短編映画「ようこそ浜村へ」の撮影風景



芸術活動の拠点となる「ことり舎」